



第147回 直木賞作家
辻村深月さん



●Profile
1980年笛吹市生まれ。山梨学院大学附属高校から千葉大学教育学部。大学卒業後、山梨県内で働きながら、作家活動を続けていた。2004年「冷たい校舎の時は止まる」で第31回メフィスト賞を受賞しデビュー。11年「ツナグ」で第32回吉川英治文学新人賞を受賞。ふるさと山梨を意識した作品も数多く発表している。

●著作の紹介
『鍵のない夢を見る』文藝春秋刊
町の中に、家の中に、犯罪の種は眠っている。第64回日本推理作家協会賞候補となった『芹葉大学の夢と殺人』を含む5編を収録。5人の異なる立場の女性を主人公に、泥棒、放火、誘拐など5つの犯罪をモチーフにして、地方に住む女性の閉塞感や普通の人々に魔が差す瞬間を巧みな心理描写を交えて綴っている。第147回直木賞受賞作品。



対談 辻村深月×阿刀田高 新しい文化の風

●やまなし発展の芽

つじむらみづき あとうだ たかし

本との出会い、読書の楽しみ

阿刀田 直木賞受賞おめでとうございませう。直木賞は本当のデビューとも言える賞。その意味ではこれからの一年間をどのように過ごすかがとても大切です。みんなが注目していますからね。

辻村 はい、頑張ります。ところで、私が初めて阿刀田さんの作品に出会ったのは地元の図書館でした。今日は同じ図書館で阿刀田さんにお会いできるということ、とても楽しみにしていました。

阿刀田 それは光栄だなあ。辻村さんは

小さな頃から作家になりたいと思っていたのでしょうか？ 作家は、いろんなことを知っていないとやっていけないですからね。どんなものをお読みになりましたか？

辻村 図書館の大人コーナーに最初に足を踏み入れて出会ったのが、ノベルズの世界です。そこからミステリー好きになつて、阿刀田さんのことも知りました。特にショートショートは夢中になって読んだ記憶があります。私の読書は好きな作家を中心に、まるで新しい地図ができるように広がっていききました。



山梨県イメージアップ大賞を受賞し、横内知事と握手をする辻村さん

阿刀田 辻村さんの巧みな文章は、いろんな作家の作品を自由に楽しんできた読書経験から生まれてくるのかもしれないですね。

図書館に大切なものは？

辻村 新しい県立図書館は、物語の舞台になりそうなほど素敵な場所ですね。高校時代通った図書館がこんな風に生まれ変わり、「母校の後輩たちはこへ来るのか」と、うらやましく思います。

阿刀田 この開放的な空間もいいですよね。こんなにも天井が高いと、心も広がる。うつむいて携帯を眺めていたのでは志は大きくなりませんか。環境が人に与える文化的影響は、絶対にあると思います。こういう場所にいるだけでもちよと賢くなった気がしませんか？

辻村 そうですね。最近の本をIT機器で読む人も増えていますが、私は今も図書館に来るとワクワクします。

阿刀田 人々が電子で簡単に本を読む

ことに慣れるに従い、紙の本の力も薄れていくでしょうが、もっと心配なのは、文学の素地が無くなることです。優れた作品は、作家のものすごい努力があるからこそ社会的にも評価されます。IT化によって安易に広まると、その関係性が壊れてしまいます。

辻村 新聞もネットで見る人が増えていますが、それでは、自分の好きな記事しか目に入ってきません。私は新聞の良いところの1つは、一覧性にあると思っています。興味のある記事だけでなく、横の三面記事や生活記事にも目が行きそこから興味広がったり知識が増えたりする。図書館もよく似ていて、書棚には、いろんな世界が詰まっています。たまたま自分の好きな作家の隣にあったからと手に取ったり、装丁に惹かれたから読んでみようと思ったりする。私自身世界への入口になることがあります。

阿刀田 それに紙の本は一つの美術品であり工芸品だと思います。装丁はもちろん、ページ構成やデザインなど細部に至るまで、実によく考え工夫して作っている。さらに箱に入っている本。言うなれば刀の鞘です。程よくスリットと出てくるテクニクは非常に難しく、今も手作り。本に見事ですよ。

辻村 同感です。私も好きな本は図書館で借りて読むだけでなく、自分で手に入れたかったし、文庫版も欲しかった。それに、別の出版社から出るときは、内容は同じでも装丁が変わる。それを追いかけていくのがすごく楽しくて。そんな楽しみを教えてくださいませんか、やっぱり図書館でした。

阿刀田 私は図書館に大切なものは、

本、建物の順だと思っっています。心から本を愛し、読書を楽しみ、読書によって自分の実りを得て来た人、いかなればあなたのような人がいることが、この図書館にとって一番大切なことだと思っっています。

国民文化祭への期待

辻村 山梨にはどのような印象をお持ちですか？

阿刀田 とても面白く、多彩な文化を持つている県ですね。この山梨で1月からは文化の国体といわれる国民文化祭が11月まで通年で開催され、図書館も会場となる予定です。

辻村 実は私、酒折連歌賞の選考委員をさせていただくことになって、生まれて初めて連歌に触れたのですがこの歳で新しい世界を知る楽しさを覚えました。私と同じように、国民文化祭が誰かの新しい扉を開くきっかけになれば良いですね。

阿刀田 折しも、こんなに立派な県立図書館がオープンして、辻村深月さんという素晴らしい直木賞作家も誕生しましたから、新しい文化の風が吹くのではないかと。山梨県の文化が今後大いに発展していくと思っっています。



「青空の下で読書ができるんです」と阿刀田館長（オープンテラスにて）

●Profile
1935年東京生まれ。早稲田大学卒業後、文部省図書館職員養成所を経て国立国会図書館で司書として勤務。72年に退職し作家活動に入る。78年「冷蔵庫より愛をこめて」でデビュー。79年「来訪者」で第32回日本推理作家協会賞、同年「ナポレオン狂」で第81回直木賞、95年「新トロイア物語」で第29回吉川英治文学賞を受賞。2003年紫綬褒章、09年旭日中綬章を受賞。現在、直木賞など多くの選考委員を務めている。12年4月、山梨県立図書館長に就任。

●著作の紹介
『闇彦』新潮社刊
幼い頃から「私」の眼前に見え隠れする不可思議な存在「闇彦」。それはどこから来て、何を伝えようとしているのか。人生の要所要所に現れる「闇彦」に導かれるように、「私」は神話と物語の淵源に遡っていく。短編の名手が初めて明かす物語の原点、創作の現場。「国際ペン東京大会2010」記念特別書き下ろし作品。



作家・県立図書館長
阿刀田 高さん

開館記念イベント



11月11日の開館初日、記念式典や阿刀田館長による記念講演を開催。新しい県立図書館の開館を心待ちにしていた県民の方々約5000人が来館し、明るく開放的な新しい図書館を満喫しました。



イベント情報

- **かいぶらり新春朗読のつどい**
内容 NHK日本語センター講師による朗読指導と実演
日時 1月6日(日) 午後1時30分～
講師 阿部陽子氏(NHK日本語センター)
- **世界のバリアフリー絵本展**
内容 世界各国から集めた障害のある子どものための絵本などを展示
期間 1月12日(土)～25日(金)
※この他にもさまざまなイベントを予定しています。詳細はホームページでご確認ください。



次のページは
国文祭
特集です



2階には開放的な空間に、幅広い分野の図書が並ぶ「一般資料コーナー」、郷土資料や県内出身者の著作、県内行政資料などを集めた「山梨関係資料コーナー」があります。新図書館全体の蔵書数は60万冊と、旧図書館と比べ10万冊増加しました。

一般資料コーナー

屋上には、都道府県立図書館の中では最大規模(105kwh)の太陽光発電パネルを設置。南面と西面には「緑のカーテン」を活用するなど環境にも優しくなっています。

環境に配慮した図書館



図書や雑誌の貸し出し手続きが利用カードを使って自動でできます。返却はカウンターにお願いします。

自動貸出機



1階には、子どもたちがたくさんの本と出会う児童資料コーナーがあり、読み聞かせができる「よむよむスペース」を併設しています。

児童資料コーナー



司書による絵本の読み聞かせ(1日1回)

皆さんの活動や発表、交流の場として、大小さまざまな部屋を貸し出しています。規模の大きな催しには「イベントスペース(500人程度)」、上映会や講演会などには「多目的ホール(200人程度)」、サークル活動などには「交流ルーム(6部屋。16～54人程度)」をご利用ください(有料・要事前予約)。

交流エリア



イベントスペース(1階)



館内に6部屋ある交流ルーム



2012
11.11

新県立図書館開館

「私をここまで連れて来てくれたのは、読書。これからも、私が今まで読んできた上質なお手本に恥じないものを書きたいし、少しでも本の世界に恩返しできたら嬉しい」と語る。辻村さんと一緒に、新しい県立図書館を巡ってみました。

利用案内

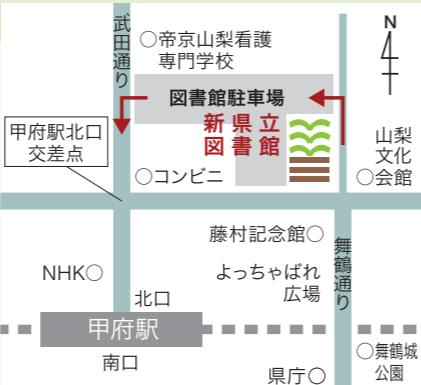
開館時間
閲覧エリア 平日 午前9時～午後8時
 土日・祝日 午前9時～午後7時
交流エリア 午前9時～午後9時

休館日
閲覧エリア 月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始など
交流エリア 年末年始など

駐車場
153台駐車可能。図書館利用者は1時間まで無料。以後30分ごとに一般車両は150円
※駐車場への進入は東側から左折。退出は西側から左折でお願いします。

問い合わせ先

県立図書館 甲府市北口2-8-1
TEL 055-255-1040 FAX 055-255-1042



県立図書館 検索

第28回 国民文化祭 開 幕 ！

全国からさまざまな文化芸術活動をしている個人や団体が集まり、発表・交流する国内最大級の文化の祭典「国民文化祭」が1月12日、いよいよ開幕。本県の四季折々の豊かな自然に育まれた文化や歴史を広く県内外の方に知ってもらうため、全国で初めて約1年にわたり開催します。この間、各種イベントが県内各地で繰り広げられます。身近な地域で開催されるイベントに参加するなど、みんなで国民文化祭を盛り上げていきましょう。

文化の風とあそぶ
 みつめる・こえる・つなげる



マスコットキャラクター
 カルチャくん



開幕を飾る

シンボル幕絵

「山梨四季彩歌」を 片岡鶴太郎さんが 描きました。

Profile

片岡鶴太郎(かたおか つるたろう)さん

1954年東京生まれ。高校卒業後、片岡鶴八に弟子入り。声帯模写で独り立ちした後、フジテレビのバラエティ番組「オレたちひょうきん族」などで人気を博し、ドラマ、映画などへと活躍の場を広げるとともに、絵画にも挑戦。NHK朝の連続テレビ小説「梅ちゃん先生」の安岡幸吉役を好演するなど、現在も幅広いキャラクターを演じる役者として活躍する一方、作品制作にも意欲的に取り組んでいる。2007年から、やまなし大使。

山梨には緑があるそのつどですね

ええ。山梨には親友がいて、十四、五年前から、年に何度も訪れています。美しい風景、おいしい食べ物、そして温泉と、いつ来てもとてもいい所ですね。私の作品の一つ「富士に桃」も、山梨の風景に感動したことから生まれました。

絵を始めようと思ったのは？

20年前です。お笑いから、役者やボクシングなどと世界を広げながらも、自分の中で「何かやり足りない」という沸々とした思いがあった時期でした。2月の寒い朝、仕事に行こうと家を出たときに、ふと気配を感じて振り返ると、赤い椿の花がありましたね。その自分の生を全部うして咲いている凛とした姿に心が震えまして、この感動を何とか表現したいと思ったのが始まりでした。

幕絵にも花などを通して 山梨の四季を表現していますね

最初に浮かんだのは、10年ほど前に山梨で見た桃の花の美しさ。そこから、山梨の四季の移ろいを表現するには、やはり花だろうと考え、牡丹、しだれ桜、桔梗、葡萄、楓、寒椿そして富士山と、私自身が心を打たれた山梨の風景を思い出しながら絵にしてみました。

苦労もあったのでは？

襖絵は描いたことがありましたが、縦1.6m×横10mという大きな世界は初めてだったので、私にとっても挑戦でした。構想が広がり、下絵段階で盛り込み過ぎた感がありましたので、そこから引き算をする形で省き、最終的に今の形に落ち着きました。

国民文化祭にメッセージを

全国初の通年開催ですからね。四季の移ろいとともに、文化も花開くことでしょう。楽しみですね。この幕絵には、東京で生まれ育った私が感動した山梨の美を凝縮しました。折々のイベントなどでこの幕絵を目にした山梨の方々が、「自分のふるさとにはこんなにも素晴らしい自然がある、彩りがある」と再認識し、誇りに思ってくれたら嬉しいですね。



鶴太郎さんが描いた「山梨四季彩歌」は
 県立図書館で1月10日(木)～31日(木)展示

開催スケジュール

冬のステージ

- ・ふるさとの祈り、息づく。
- ・オープニングウィーク
「1月12日～20日」
- ・オープニングイベント
開幕式典、総合舞台
- ・やまなしの道祖神祭り展
- ・やまなし発見フォーラム
- ・文化庁メディア芸術祭山梨展など
- ・甲州市道祖神まつり(甲州)
- ・地歌舞伎の祭典(南都)
- ・和太鼓の祭典(富士川)
- ・秀麗富士十二景写真フェスティバル(大月)
- ・北杜24景フットパス(北杜)など

春のステージ

- ・いのち、萌えつつ。
- ・オープニングウィーク
「4月6日～14日」
- ・オープニングイベント
大フットパス祭り
- ・やまなし春の花フェスティバル
- ・やまなし発見フォーラムなど
- ・大華道展・大茶会(甲府)
- ・フオッサマグナの恵み体感ツアー(甲川)
- ・じよいそーらんフェスティバル(上野原)
- ・郷土芸能フェスティバル(小倉)
- ・つづじフェスタ(鳴沢)
- ・パイプオルガンフェスティバル(南ア)
- ・万葉うたまつりとホテル観覧会(山梨)
- ・シニアコーラスの祭典(都留)など

夏のステージ

- ・山河、きらめく。
- ・オープニングウィーク
「6月30日～7月7日」
- ・オープニングイベント
サマーカーニバル
- ・富士山お道開きの中継
- ・やまなし発見フォーラムなど
- ・絵手紙フェスティバル(忍野)
- ・ジュニアバンドフェスティバル(山中湖)
- ・ふれあい歌謡フェスタ(丹波山)
- ・子ども太鼓フェスティバル(昭和)
- ・朗読フェスティバル(甲斐)
- ・国際切り絵コンクール(身延)
- ・ジャズフェスティバル(富士河口湖)など

秋のステージ

- ・実りの感謝、次代へ。
- ・オープニングウィーク
「10月26日～11月10日」
- ・総合フェスティバル(開・閉会式)
- ・文化まるごとフェスティバル
- ・やまなし発見フォーラムなど
- ・美術展「書」(市川三郷)
- ・食の祭典(富士吉田)
- ・信仰の山三ツ峠登山ツアー(西桂)
- ・文芸祭俳句大会(笛吹)
- ・ふるさと生活文化フェスティバル(道志)
- ・日本舞踊の祭典(韮崎)
- ・ハンドクラフト展(中央)など

通期事業

- ・やまなしフットパス
- ・やまなし造形遊び
- ・まちなかステージ
- ・やまなし食のカレンダー



前夜祭 薪能の上演

■日時 1月11日(金) 夕刻
■場所 舞鶴城公園 鉄門前



ウェルカムイベント



■期間 1月12日(土)～1月20日(日)
■場所 JR甲府駅北口よっちゃんばれ広場
■内容 パフォーマンスステージ
やまなし「食」のテント村
国文祭のアイドルユニット
YKB303も登場し、開幕を
盛り上げます!

やまなし発見フォーラム

山梨から考える日本の道祖神
〜盛りあがる行事にみる人びとの願い〜

■日時 1月13日(日) 午後1時～5時
■場所 山梨学院大学メモリアルホール
■内容
第1部 県内各地の道祖神祭礼の再現
第2部 基調講演・パネルディスカッション

※観覧希望者は、実行委員会事務局へ
お問い合わせください。



分野別フェスティバル 各市町村を舞台にさまざまなジャンルのイベントを開催します。

※各イベントの詳細は公式ホームページでご確認ください。



地歌舞伎の祭典(南部町)
▶1月19日(土)



民俗芸能の祭典(甲州市)
▶1月20日(日)



和太鼓の祭典(富士川町)
▶1月19日(土)・20日(日)



北杜24景フットパス(北杜市)
▶1月19日(土)・2月16日(土)ほか
※年間で11回開催



甲州市道祖神まつり(甲州市)
▶1月12日(土)・14日(月・祝)



秀麗富嶽十二景
写真フェスティバル(大月市)
▶2月17日(日)～3月3日(日)ほか



甲州ワインフェスタ(甲州市)
▶3月2日(土)



フットパス・朝市と
ワイナリーめぐり(甲州市)
▶2月～11月の第1日曜日

「緑の龍神」
よっちゃんばれ広場に出現!

世界で活躍する造形作家・國安孝昌さんと一緒に、JR甲府駅北口よっちゃんばれ広場で、県産木材を使用した巨大アートを造り上げてみませんか!

山梨の印象は?

日本がまだ混沌(こんとん)としていた時代に、都から遠く離れた山の中にあって、強大な軍団を率いた天下統一を目指した武將・武田信玄を生み出した山梨。古くから多様な文化やコミュニティが存在し、歴史に偉大な足跡を残した、とても興味深い場所ですね。

国民文化祭が初の通年開催な

どのような作品に?

ので、四季折々の顔を見せる生き木をそのまま作品に取り込もうと考えました。タイトルは「緑の龍神」。一本の街路樹を何百本もの丸太で包み込む、エネルギーに満ちた作品になるはず。

制作には、県民も参加できるそうです

はい。参加することで、作品に対する見方が大きく変わりますし、アートに対する考え方も変わって、世界が広がると思います。



Profile
國安孝昌
(くにやす たかまさ)さん
1957年北海道生まれ。造形作家・筑波大学大学院准教授。国内外で丸太やれんが、石などを積み重ね、周囲の風景をも取り込んだ大規模な造形作品を精力的に発表している。1999年第18回現代日本彫刻展大賞・神奈川県立美術館賞を受賞。

ぜひ多くの方に参加していただき、体を使って作品を作る楽しさや面白さを感じてほしいです。
11月まで展示されますから
多くの方にご覧いただけます

作品から、エネルギーとか、動きとか、生命力とか、いろいろなことを感じるとともに、藤村記念館や県立図書館など、周辺の建物との対比や、春の芽吹き、夏の緑、秋の紅葉と、季節とともに変化していく様子なども楽しんでいたかと思えます。

国民文化祭にメッセージを!

文化は、物の考え方、人との付き合い方などに多大な影響を与えます。国民文化祭を通して県民の皆さんが自分たちの文化に気付いたり、再確認したりすれば、それが地域の力につながっていきます。さまざまなイベントが開催され、刺激的な一年になるはず。一緒に楽しみましょう。

募集期間 ~1月18日(金)
参加日 3月2日(土)、3日(日)、9日(土)、10日(日)、16日(土)、17日(日)、20日(水・祝)のいずれか
※応募方法など、詳しくは公式ホームページでご確認ください。

「緑の龍神」制作 参加者募集



やまなし発見フォーラム
戦国文化を探る ~甲斐の国に見る武田氏の功績~

■日時 4月14日(日) 午後1時～5時
■場所 東京エレクトロン韮崎文化ホール(韮崎市)
■内容 第1部/「歴ドル」トークショー
歴史に詳しいアイドル「歴ドル」が武田氏の魅力について、親しみやすく解説します。
第2部/基調講演・パネルディスカッション
■観覧 入場整理券が必要

戦国武将No.1トーク合戦

■日時 4月13日(土) 午後1時～5時
■場所 県立文学館 講堂(甲府市)
■内容 大学生4チームが戦国武将への思いや表現力などを競います。
■観覧 入場整理券が必要

【入場整理券の問い合わせ】 募集期間や方法など、詳しくは募集チラシまたは公式ホームページでご確認ください。応募多数の場合は抽選となります。

【問い合わせ先】
第28回 国民文化祭 山梨県実行委員会事務局(国民文化祭課内)
TEL 055-223-1846 FAX 055-223-1842

やまなし国文祭

検索

全国から多くの方が
山梨県を訪れます。
おもてなしの心で
お迎えしましょう!

